

平成 18 年 2 月 20 日

財 政 部

平成 17 年度岩手競馬事業実績及び 18 年度事業計画等について

平成 17 年度の状況について

1. 開催成績

平成 18 年 1 月 16 日、第 22 回水沢競馬終了時点の開催成績は次のとおり

- (1) 発売金額…………… 29,169 百万円 前年比 91% (計画比 97%)
 (2) 入場者数…………… 411,578 人 前年比 105%

2. 収支見通し

平成 17 年度の最終見込みは下表のとおり

H17改め損益見込み

		H17計画	H17.12月末 議員協議会	1月16日時点 成行執行額	3月24～27日 特別競馬分	最終執行額 (成行+特競)	計画との差
売上高	収入金						
	既存体制発売収入	29,930	30,093	29,169	600	29,769	▲ 161
	売上高計①	29,930	30,093	29,169	600	29,769	▲ 161
	入場料他	2,043	1,909	1,906	3	1,909	▲ 134
A 売上高合計		31,973	32,003	31,076	604	31,678	▲ 295
売上原価	払戻金 ①×74.1%	22,178	22,259	21,574	445	22,019	▲ 159
	公営金融公庫納付金他	1,795	1,975	1,941	18	1,959	164
	B 売上原価合計	23,973	24,234	23,515	463	23,978	5
売上総利益 C=A-B		(1) 8,000	7,769	7,560	140	7,700	▲ 300
販売費及び管理費	競定関係報償金等	3,128	3,208	3,150	79	3,229	101
	報償費を除く販売・管理費計	6,090	6,189	6,104	45	6,150	60
	場外売却・買貸に伴う施設賃料等の減額	▲ 150	▲ 175	▲ 175		▲ 175	▲ 25
	特別損失	▲ 414	▲ 414	▲ 414		▲ 414	0
販売費及び管理費合計		8,654	8,808	8,665	124	8,790	136
営業利益		(2) ▲ 654	▲ 1,040	▲ 1,106	16	▲ 1,090	▲ 436
営業外損益		▲ 609	▲ 670	▲ 670		▲ 670	▲ 61
経常損益		(3) ▲ 1,263	▲ 1,710	▲ 1,776	16	▲ 1,761	▲ 498
特別損益		1,700	1,817	1,817		1,817	117
当期純損益		(4) 437	107	41	16	56	▲ 381

3. 特別開催の計画変更について

第 23 回水沢競馬については、次のとおり 1 日追加し 4 日間の日程で開催する。

- (1) 当初計画……………平成 18 年 3 月 25・26・27 日 (3 日間)
 (2) 変更計画……………平成 18 年 3 月 24・25・26・27 日 (4 日間)
 (3) 理 由……………財源確保のため
 (4) 手続き ……………平成 18 年 2 月 8 日付けで農林水産省に変更届けを実施

中 街の端外

果外 1. 盛岡口外

たて心 市口外一切相談外

$$30万/10 \times 34軒 \times (\text{開催日数}) \times 15\% = 3265000円$$

他場開催

九州競馬との連携の要として売上上下の可能性がある。
 欠不足分を兵庫でカバーする。

開催日	開催場	開催種別	開催時間	開催内容	開催結果	開催備考
1/1	盛岡	競馬	13:00
1/2	盛岡	競馬	13:00
1/3	盛岡	競馬	13:00
1/4	盛岡	競馬	13:00
1/5	盛岡	競馬	13:00
1/6	盛岡	競馬	13:00
1/7	盛岡	競馬	13:00
1/8	盛岡	競馬	13:00
1/9	盛岡	競馬	13:00
1/10	盛岡	競馬	13:00
1/11	盛岡	競馬	13:00
1/12	盛岡	競馬	13:00
1/13	盛岡	競馬	13:00
1/14	盛岡	競馬	13:00
1/15	盛岡	競馬	13:00
1/16	盛岡	競馬	13:00
1/17	盛岡	競馬	13:00
1/18	盛岡	競馬	13:00
1/19	盛岡	競馬	13:00
1/20	盛岡	競馬	13:00
1/21	盛岡	競馬	13:00
1/22	盛岡	競馬	13:00
1/23	盛岡	競馬	13:00
1/24	盛岡	競馬	13:00
1/25	盛岡	競馬	13:00
1/26	盛岡	競馬	13:00
1/27	盛岡	競馬	13:00
1/28	盛岡	競馬	13:00
1/29	盛岡	競馬	13:00
1/30	盛岡	競馬	13:00
1/31	盛岡	競馬	13:00

この資料は競馬関係者のために作成されたもので、厳禁事項を記載しております。本資料の複製、転載、または第三者への提供は厳禁とさせていただきます。本資料の取扱いには十分ご注意ください。

岩手県競馬組合改革実行計画営業策の進捗状況

区分(項目)	実施年度	事業内容等	現状(取組状況)	備考
■セグメント別営業戦略				
1 競馬未体験のお客様に対する来場の促進、購買意欲向上				
(1) 不的中投票券(外れ馬券)抽選	⑩	一定期間毎に不的中馬券投票券を対象とした抽選を行い、賞品等をプレゼント。	リベンジ大作戦「ハズレ馬券に再チャンス」4月2日(H17岩手競馬開幕日)より開始 ・第1回:4月2日～5月30日…3億7千万円分のハズレ馬券が応募されました 賞品は3コース10万円相当の品各3点 コース:パフン・海外ブランドバッグ・旅行券 ・第2回6月4日～8月7日…2億6千万5百万円分のハズレ馬券が応募されました 商品構成は第1回と同様但し、賞品は一部変更 ・第3回は8月14日～10月3日…2億4千万円分のハズレ馬券が応募されました 前回の商品に加え、更に再チャンスとして3万円の商品券を18名に追加 ・第4回は10月8日～12月25日…2億7千万5百万円分のハズレ馬券が応募されました 商品構成は前回同様、抽選会は12月30日に水沢競馬場で開催	リベンジ大作戦抽選状況 ・第1回 応募総数7万4千通 ・第2回 応募総数5万3千通 ・第3回 応募総数4万8千通 ・第4回 応募総数5万5千通
(2) 競馬施設を活用したイベント実施	⑩	競馬場の敷地・施設を活用した、自主事業及び協賛事業を実施する。 フリーマーケット、中古車市等既存事業の他、営業活動により新規事業の参加を募る。 なお、イベント開催時に初心者向けの競馬事業PR、解説等を併せて行う。(企業コラボレーション(互惠)事業(後述)においても、出向いて初心者向けPR等を実施する。)	企業参加イベント ・開幕イベント(水沢愛馬の会)…4/2 ・めんこいフリーマーケット…15日開催(平均出店数100店)。 ・めんこいCARニベル…4/16～17 8/27～28 ・フェスタオンニューミズサワ(水沢愛馬の会)…6/11 ・JU中古車市…6/11～12 9/3～4 ・お帰りなさい水沢競馬(水沢愛馬の会)…6/26 ・IBCゴルフフェスタ…5/3～5 ・IATフェスタ…5/3～5 ・全国競馬実況アナウンサーサミット…6/18～20 ・TVI アカデミー「競馬講座」…7/3 ・盛岡競馬サマーフェスティバル(盛岡愛馬の会・盛岡市協同主催)…7/31 ・畜産フェア…盛岡7/31 水沢9/11 ・TVIありやま記念…8/7 ・矢野町フェア…8/6～7 ・サマーコンサート…8/20 ・岩泉町フェア…9/19 10/10 自主イベント ・バドック解説:最終5レースを基本に重賞競走実施日は全競走実施 ・子供騎馬武者行列イベント…5/1 ・日高火防祭厄年連甲辰会手踊り…5/1 ・一日開催執務委員長(Dr.コバ)…水沢4/2、盛岡5/14 ・盛岡競馬開幕イベント…5/14 ・ちびっこフェスティバル…水沢5/3～5 ・東北競馬競技盛岡競馬場大会…盛岡5/3、11/13 ・相馬野馬追甲冑競馬…盛岡5/21 水沢9/4 ・ポニースクール会員による誘導馬サポート制…水沢6/25～ ・増田知事と小学生のダーツ大会…水沢6/25 ・サマーキッズフェスティバル…7/30～8/16 ・ホースフェスタ IN MIZUSAWA…9/11 ・G1レース・ステージカート・クショ…7/18 8/15 9/19 10/10 ・盛岡市玉山村合併記念イベント…11/6 ・奥州市誕生記念イベント…12/4 ・お客様大感謝祭(水沢・盛岡・各テレビトラック)…12/29～31 1/2～3 1/7～9	主なイベントの入場者状況 ()は前年比 ・水沢開幕日 4,388名 (134.6%) ・めんこいCARニベル 4月16日 6,289名 (230.1%) 8月28日 5,019名 (261.8%) ・お帰りなさい水沢競馬場 7,067名 (294.9%) ・IBCゴールドフェスタ 5月3日 8,591名 (414.0%) ・IATフェスタ 5月3日 5,437名 (151.4%) ・アナウンサーサミット 6月19日 2,868名 (126.0%) ・盛岡サマーフェスティバル 3,058名 (210.9%) ・TVIありやま記念 2,976名 (190.4%) ・子供騎馬武者・日高火防祭 9,280名 (244.3%) ・盛岡競馬開幕イベント 3,967名 (139.7%) ・東北競馬競技盛岡競馬場大会 8,591名 (414.0%) ・相馬野馬追甲冑競馬 5月21日 4,126名 (214.0%) 9月4日 2,989名 (106.7%)
(3) 競馬施設における地域活動	⑩	競馬場の敷地・施設を、市民活動等に開放する。	・水沢競馬場向上面「桜並木道」を花見の季節に開放4月23～5月1日 ・味覚市…盛岡 5月21日 ・盛岡市町内会・老人クラブに説明会を7月1日実施し開催日以外の利用等呼びかけた ・水沢競馬場:水沢花火大会の観覧場として開放8月12日 ・盛岡市の一般市民(35名)を対象とした盛岡競馬場施設見学会を8月23日に実施 ・老人大学(50名)の盛岡競馬場施設見学会を9月7日に実施	入場者及び来場者状況 ・桜並木道 のべ来場者650名 ・味覚市 4,126名 (214.0%) ・水沢花火大会見物来場者 30,000名 ・盛岡市一般市民 35名が来場 ・老人大学から 50名が来場
(4) 東北ばん馬競技大会 盛岡競馬場大会実施	⑩	盛岡競馬場の練習走路を活用し、場外(水沢)開催時にばん馬競技大会を春と秋に開催する。	・第1回大会…5月3日盛岡競馬場で実施(9,591名)参加頭数33頭岩手、青森、秋田、宮城から参加 ・第2回大会…11月13日盛岡競馬場で実施(7,324名)参加頭数63頭岩手、青森、秋田、宮城から参加	
(5) 観光コンテンツ(材料)としての岩手競馬	⑩	岩手県を対象とした国内ツアーの1コンテンツとして、競馬場ツアーを位置付ける。	・JR東日本との協議: 6月盛岡市を通じてグレード競走実施日のツアーを温泉・ポニースクールを折り込み提案したが、募集しても参加人数が見込めないとの結論に至り、競馬へのツアー提案は非常に難しい状況にある ・岩手県を通じて韓国旅行代理店への働きかけ…5月下旬 ・現在、水沢市観光協会を通じて競馬場と周辺観光の企画を検討中	

区分(項目)	実施年度	事業内容等	現状(取組状況)	備考
(6) 企業福利厚生事業の活用	⑩	「競馬探検隊」(特別観覧席を会場として、昼食・ドリンク・予想紙を提供し、馬券購入及び予想ポイントを解説する)を企業や町内会等の福利厚生事業の利用向けに拡充する。	・昨年度も数社の社員旅行で利用していた状況から17年度も更に拡大実施した。 ・盛岡市の町内会及び老人クラブ連合会に対する「競馬たんけん隊」及び「シルバー会員制」等の説明会を7月1日盛岡競馬場で実施し、各町内会・老人クラブにチラシの配布を依頼した。	利用状況 ・競馬たんけん隊 32組 340名 ・シルバー会員 966名
(7) 女性限定競馬入門教室開催	⑩	県内タウン誌と連携して競馬入門記事を連載するとともに、女性競者を対象とした競馬教室(「競馬探検隊」(前述)の手法)を開催する。	・今後実施に向け現在とり進め中	
(8) ビギナーコーナーの設置	⑩	施設案内・購入方法・ルール等を解り易く解説した「初めての来場者向け情報コーナー(仮称)」を設置するとともに、視認性の高い服装とした「インストラクター(案内者)」を配備する。	・水沢1回から、職員1名が常駐し指導、「施設案内」「馬券の買い方」「有名馬の動向」等を案内した。また、水沢競馬場のインフォメーションは奥まっている事から、分かりやすくするため入場門近辺にコーナーのボックスを設置した。 ・6月末より場内巡回による対応を開始検証中また、ビギナー向けのパンフレットを作成し、優待券と一緒に配布 ・8月からは入場門付近にビギナー教室用のバスを配置し1日2回実施した。	ビギナー教室利用状況 ・338名(129日間)
(9) 岩手競馬・馬事文化情報の共同発信	⑩	構成団体広報誌に、岩手競馬に係る各種情報を、馬事文化の紹介と併せて掲載する。	岩手グラフ(5月1日号)・広報盛岡(5月1日、7月1日、9月1日号)、水沢(4月15日号)に掲載し実施済み	
(10) 企業コラボレーション(互恵)による広告・販促	⑩	競馬場の施設を活用した企業広告・広報と、企業の販売・顧客網における岩手競馬の広告活動を互恵事業として行う。	・新車展示会4/2(水沢) ・キリンビールプレゼント(水沢・盛岡・TT:4/2~4/10 盛岡:8/15 22,000本 水沢:11/13 200本) ・IATフェスタ(5/3~5/5 2,170点) ・JT缶コーヒー、養生堂シャンプープレゼント(5/15各500本) ・日高軽種馬農業組合プレゼント(7/9 200名 10/30 200名) ・ドリームチケットとホテル宿泊券・食事券等の相互売上 ・盛岡市つなぎ温泉ホテル大観望泊券・プラザイン水沢食事券・水沢グランドホテル食事券 ・ユウランド玉山入浴券・アトレイの里温泉郷各温泉の入浴券	

2. 岩手競馬以外の競馬に参加している又はかつて岩手競馬に参加していたが現在遠のいているお客様への浸透

(1) JRA-GIのみ購買されているお客様の誘客	⑩	JRAのGI発売日に、JRA発売窓口付近で岩手競馬メインレース予想紙の配布を行い、メインレースの販売促進につなげる。	桜花賞・皐月賞・天皇賞で6レース終了後から岩手競馬の「メインレース及び最終レース」の予想紙を無料提供しているが次のとおり、特に最終レースの売上が多い状況で効果があると考えている。 桜花賞90%(80%) / 皐月賞95%(85%)・天皇賞102%(99%) また、5月の日本ダービーを始め、6月のJRA-GI競走発売日には継続して実施しているほか、TT横手・つがるにおいては土日に同様の方法により予想紙を提供している。さらに、7月23、24、8月20、21日にGI以外の競走を発売することから、JRA終了後3レース発売できるように時間を変更して実施した。 なお、10月からスタートした秋季GIシリーズは最終の有馬記念まで実施した。	
---------------------------	---	--	--	--

3-1. 既存ファン等の来場意欲喚起、並びに興味保有者への周知(競走の質の向上)

(1) 商品ラインナップ	⑩	他主催者からの受託発売が可能となることから、岩手競馬に加えJRA競走を含む多様な競走を岩手商品として位置付けファンに提供する。	①岩手競馬(盛岡・水沢競馬) ②他地区競馬(ダートグレード競走、九州競馬など) ③中央競馬(グレード競走中心)・・・盛岡・水沢競馬場、TT横手・田舎館	
(2) 岩手競馬開催規模	⑩	ファンの来場・参加機会の拡大、観客関係者の出走機会の拡大、並びに当組合の増収機会の拡大に資するため、現在の年間120日開催を126日開催として実施する。	①開催日数 21開催、126日 ②開催場 水沢競馬を現行より1開催増として実施 ③競走数 11競走×126日≒1,350競走	
(3) 魅力ある競走の実施	⑩	①商品の特色強化 競走馬の芝適性を探るための競走や芝競走を中心としたJRA競走への挑戦など、岩手競馬ならではの商品とするための番組編成や仕掛けづくりを行いながら、岩手競馬の経営資源を前面に打ち出した特色付けを図る。 ②馬資源の拡充 魅力ある競走を提供するため、全国交流競走を拡充し有力馬の参戦を求めると、並びに出走手当の引き上げ等により馬資源の拡充と競走の質の向上を図る。	・5月14日から「テシオが選ぶ本日のゴールドアップレース」を新設 ・6月25日から黄金ハンデレースを実施 ・6月26日からタイムチャレンジレースを実施 ・遠野育成調教施設と馬資源の一体化を図るため、協力体制を敷いた。また、遠野育成調教施設からの直接出走も視野に入れている	
	⑩	③シリーズ制の導入 これまでの、秋季に集中する傾向にあった競馬の盛り上げりを、年5回に分散・拡大することを図り、シリーズ毎に頂点競走を設定した競走体系の明確化、シリーズ毎の互恵企業の広報等事業サポート、またお客様に対してはシリーズ毎の不的中投票券を対象とした復活抽選会を実施することなど、お客様にとってわかり易く、また来場意欲が継続するような開催形態への転換を計画する。	実施済み(ハズレ馬券とタイアップ)	

区分(項目)	実施年度	事業内容等	現状(取組状況)	備考
3-2. 岩手競馬に参加いただいているお客様の来場意欲喚起並びに興味保有者への周知(営業活動)				
(1) クラブハウス、特別観覧席等の利用商品の創設		クラブハウス、特別観覧席等を利用したサービスと新商品の提供により、重要顧客の醸成を促進し、リピート率の向上を図る。	クラブハウスを会員以外への利用に一部開放することで料金を3,000円として5月末より利用促進を図っている。これまで土日で多いときで5~6名の利用があり、評判は上々である。	
(2) 岩手競馬サポーター(仮称)会員登録		岩手競馬サポーター(仮称)会員制度を創設し、会員に対する特典を提供する。また、会員に集客活動(無料優待券配布・入場促進)を依頼する。なお、会員の集客活動による入場者から、抽選で一定数にキャッシュバックを行うとともに、会員の獲得入場者数に応じた特典(キャッシュバック・商品券)を提供する。	キャッシュバックは未実施であるが、サポーターズクラブは結成し、現在東北プロムポーツサポーターズクラブの結成を調整中 水沢愛馬の会 2,700名 盛岡愛馬の会 1,550名 サポーターズクラブ600名 サポーターズクラブ(イーハートブ競馬団)の会員増を図るため、サポーターズクラブのホームページを開設(7月8日)	
(3) 組合・公社職員による営業		組合・公社職員による集客活動(無料優待券配布・来場促進)を実施する。	無料入場券、特別観覧席の無料入場券を職員及び従事員が知人に配布する(約22万枚)実施済み	
(4) 来場ポイントサービス		来場者の来場回数に応じたポイントサービスを拡充し、指定席券、予想紙、食事券との引き換え等を実施する。	場外施設は4月2日より開始、競馬場は5月1日より実施した。 また、6月三本木、7月十和田で本場観戦ツアーのポイントを追加実施した。	
(5) 場外ファン本場ツアー		テレトラック来場者に対するポイントサービスとして、本場観戦ツアーを実施する。	テレトラック三本木利用客対象 :7月18日マーキュリーカップGⅢ競走への本場招待 テレトラック十和田利用客対象 :8月15日クラスターカップGⅢ競走への本場招待	
(6) 携帯メール情報配信		メール会員登録を募り、会員に岩手競馬に関するタイムリーな情報を配信する。	インターネット販売を推進する中でトータル的な情報提供方法を現在検討中	6/21/2016
4. 単価UP運動				
(1) 追加買求めアナウンス演出		「抜け目はありませんか、買い足しはいかがですか」等のアナウンス、「この窓口から万馬券出ました!」等の張り紙などの手法により、押さえ馬券、高倍率馬券購入の動機付けを行う。	競馬評論家や競馬解説者らが出演する、「追加購入」や「購入促進」を促すVTRコマercialを制作し場内映像で放映して演出を図った。	
(2) 高額配当的中記念品贈呈		高額配当的中者への記念品プレゼント。	未実施	
5. 広告・広報、営業活動検証				
(1) アンケート実施		競馬場来場者及び未体験者の購買行動・参加動機等を把握するためのアンケートを実施します。	県職員・盛岡市&水沢市職員にアンケート行い、現在集計と分析中	
(2) 広告・広報		岩手競馬の経営方針・具体的取組等を、マス広告・営業活動などを通じて周知を図ります。併せて、営業戦略の展開について定期的に検証を行い、都度改善を図ります。	4月より、競馬未体験者の来場機会の提供を図ったことから、入場者数は増加したが、発売額は前年を下回り前年比87%台となっていることから、6月下旬に営業の体制強化を図るため、営業推進室に集客を図ることを主とする課と来場者の顧客満足度の向上を図ることを主とする課の一室二課制とし整備した。	

平成18年度事業計画及び予算計画の概要

I. 平成18年度事業計画概要

1. 開催日程

平成18年度の岩手競馬は、平成18年4月8日を開幕日とし次の日程により開催する。

- (1) 開催期間及び日数・・・平成18年4月8日～平成19年3月27日の期間において、指示回数21回に特別競馬2開催を加えた23回(132日間)を開催する
- (2) 場別開催回数・・・水沢競馬13回(73日間)盛岡競馬10回(59日間)
- (3) 開催日程・・・土・日・月の週3日間を基本に一部祝祭日を取り込んだ日程とする。

2. 競走計画概要

平成18年度における岩手競馬の競走計画は、概ね次により実施する。

- (1) 計画競走数・・・年間概ね1,430レースを計画する。
- (2) ダートグレード競走・南部杯・ダービーグランプリGI及びマーキュリーカップ・クラスタールカップGⅢの4競走を計画する。
- (3) 重賞・特別競走・・・重賞競走28レース、特別競走102レースの計130レースを計画する。
 なお、原則として重賞競走は全国交流競走として開放する。
- (4) 新設競走等・・・① ワールドスーパージョッキー競走(JRA主催)の地方騎手選抜第1戦を岩手で実施する。
 ② ダイヤモンドカップを「岩手ダービー」とし、全地方競馬のダービーシリーズ競走として実施する。

II. 平成18年度予算計画概要

1. 平成18年度予算総括表

(単位：百万円)

項目・区分	改訂実行計画	18年度予算	増減
売上高	36,949	34,701	▲ 2,248
売上原価	28,041	26,513	▲ 1,528
売上総利益	8,909	8,188	▲ 721
販売費及び一般管理費	9,063	8,355	▲ 708
営業利益	▲ 154	▲ 167	▲ 13
営業外損益	▲ 564	▲ 551	13
経常利益	▲ 718	▲ 718	0
特別利益	800	820	20
当期純損益	82	102	20

2. 売上高の内訳

(単位：百万円)

項目・区分	改訂実行計画	18年度予算	増減
(1) 既存売上高	26,700	26,700	0
(2) 営業目標	1,675	2,675	1,000
(3) 新賭式導入(三連複・三連単)	2,000	2,000	0
(4) インターネット発売	1,000	1,000	0
(5) 街中小規模場外	315	315	0
(6) JBC開催	1,700	0	▲ 1,700
(7) 広域連携共同場外	1,000	0	▲ 1,000
(8) 電話投票拡充(D-NET)	567	0	▲ 567
(9) 広域受託発売協力金等	1,992	2,011	19
計	36,949	34,701	▲ 2,248

(1) ~ (2) 既存売上・営業目標

- ① 馬券購入へ誘導 誘客したお客様を馬券購入に導く誘導策を確立
- ② 新たな誘客策
 - ア 顧客参加型の広報活動の展開
 - イ 顧客参加型の営業活動の展開
 - ウ 獲得型営業の展開
 - エ 競馬場施設の開放
 - オ テレトラック独自の営業
 - カ 協賛広告募集の営業活動
- ③ ターゲットの明確化 底辺拡大を図るため主に20代をターゲットとした営業の展開。
発売額向上を図るため、リピーターの増加・参加回数の増加に主眼を置いた営業の強化
- ④ 委託発売増加 平成17年度における他場発売は、約66億円(前年比110%)で岩手競馬全体発売額の23%を占めているが、その中で恒常的な委託先は「佐賀」「荒尾」「金沢」で、発売額は約40億円である。
平成18年度においては、「佐賀」、「荒尾」、「金沢」に加え、「兵庫」と連携を図り、恒常的・安定的な発売額の向上を図る。

(3) 新賭け式の導入 コンピュータシステムの更新に併せて「3連勝単式」及び「3連勝複式」勝馬投票法を導入し、改訂実行計画のとおり達成を見込む。

(4) インターネット投票 開幕初日から、インターネット投票による発売をオッズパーク(株)に委託する。

また、次により同サイトにおける岩手の優位性を確立し底辺人口の拡大を図り改訂実行計画に示す発売額10億円を見込む。

- ① ブログの開設
- ② 岩手県の紹介

- ③ 芝コースの優位性の強調
- ④ 情報の発信 常に最新の魅力ある情報の発信
- ⑤ 全国への発信 全国紙への広告掲載等、広範な周知を図る。

(5) 街中場外 盛岡市、内陸及び沿岸南部等を対象に3か所設置し、改訂実行計画に示す発売額3億円を達成する。

(6) JBC競走 平成18年度は実施出来ないため、改訂実行計画から17億円を減額する。

(7) 広域連携共同場外 開設の見通しが不透明な状況から改訂実行計画から10億円を減額し、営業目標に包含する。

(8) 電話投票拡充 NRS（日本レーシングサービス（株））が所有する電話投票システム（D-NET）をオッズ・パーク（株）に譲渡したことに伴い、インターネット投票発売額10億円に包含した。

(9) 広域受託発売協力金等 受託発売を拡大し、木曜日において「兵庫」の発売を実施する。

3. 売上原価の内訳

(単位：百万円)

項目・区分	改訂実行計画	18年度予算	増減
(1) 払戻金	25,903	24,191	▲ 1,712
(2) 公営企業金融公庫納付金	373	315	▲ 58
(3) 地方競馬全国協会交付金	489	389	▲ 100
(4) 広域場外委託協力金	938	962	24
(5) インターネット発売等委託	232	197	▲ 35
(6) 場外発売運営委託	106	459	353
計	28,041	26,513	▲ 1,528

(1)～(3) 義務経費 発売額に係る所定の割合により算出される額で、発売金額の減少により所定の減額

(4) 広域場外委託協力金 兵庫への委託増加による協力金支出の増加。

(5) インターネット発売等委託 改訂実行計画では委託手数料について10%で計画したが、15%にて計上。

但し、広域連携共同場外の未実施により総額としては減額。

(6) 場外発売運営委託 改訂実行計画に比較し委託対象場外（1箇所→3箇所）の増加に伴う委託料の増加

4. 販売費及び一般管理費の内訳

(単位：百万円)

項目・区分	改訂実行計画	18年度予算	増減
(1) 競走関係報償費	3,128	3,284	156
(2) 投票システム整備等	1,415	1,328	▲ 87
(3) 開催労務費	963	701	▲ 262
(4) 専用場外賃料	717	998	281
(5) 営業販売費	373	261	▲ 112
(6) JBC開催経費	586	0	▲ 586
(7) 人件費	500	514	14
(8) その他販売・一般管理経費	1,381	1,269	▲ 112
計	9,063	8,355	▲ 708

- (1) 競走関係報償費 改訂実行計画と比較し、開催日数を6日間増加することに係る競走関係報償費の増加
- (2) 投票システム整備等 新コンピュータシステムの導入経費の縮減
- (3) 開催労務費 開催に係る警備・投票・清掃人員の縮減による削減
- (4) 専用場外賃料 改訂実行計画では年間約4億円の削減を計画したが、平成18年度は1億円余削減した約10億円を計上
- (5) 営業販売 効果測定が不明確なイベント・広告等の取り止めによる減額
- (6) JBC競走 平成18年度は実施出来ず、関係費を計上せず
- (7) 人件費 合理化対象人員の構成差による増加
- (8) 債務負担行為 平成18年度予算に係る債務負担行為は次のとおり
- ① 新コンピュータシステム 次により平成18年度から新コンピュータシステムを畜産近代化リース協会からのリースにより導入する
- ア 期間 平成18年度～平成23年度までの6年間
- イ 総額(限度額) 962,000千円(改訂実行計画の見込額 約1,300百万円)
- ウ 目的 3連単・3連複対応、街中場外対応、マルチ・フォーメーション投票対応
- エ 経費縮減見込額 268百万円/年
(現システム 428百万円/年、新システム 160百万円/年)
- ② 場外施設 次により、場外施設の賃借について複数年度契約を締結する。
- ア 期間 平成18年度～平成20年度までの3年間
- イ 総額(限度額) 2,992,701千円
- ウ 目的 当該期間における賃借料の縮減
- エ 経費縮減見込額 約117百万円/年
(期間合計 約350百万円)
- (9) その他 詳細は別添1のとおり

5. 営業外損益の内訳

(単位：百万円)

項目・区分	改訂実行計画	18年度予算	増減
支払利息	▲564	▲551	13

6. 特別損益の内訳

(単位：百万円)

項目・区分	改訂実行計画	18年度予算	増減
財産処分収入	800	820	20

改訂実行計画に基づき、所有するテレトラックを売却する。

7. 借入金の内訳

(単位：百万円)

項目・区分		17年度末見込み	18年度末見込	増減
(1) 長期借入金	公営金融公庫	6,031	5,222	▲ 809
	銀行	9,244	10,053	809
	小計	15,275	15,275	0
(2) 短期借入金	銀行	14,174	14,174	0
計		29,449	29,449	0

III. 平成18年度の課題

(1) 自場発売

平成17年度においては、開幕当初、蔓延する負のイメージの払拭に主眼を置いた営業展開（Drコパのイメージキャラクター起用）と競馬及び競馬場に対するイメージチェンジ・賑わいの創出（ばん馬・相馬野馬追い・武者行列等）を図り、徐々にではあるが集客の効果は挙げえた。

しかしながら、集客に対し売上高の伸張は顕著に見られず、更に11月半ば以降、例年にない降雪とも相俟って、売上は低落を続けた。

○ 即ち営業の展開により一過性的な賑わいは創出したが、恒常的な競馬・馬券への新たな誘導が出来得なかった。また、イベント等の広報が徹底を欠いたりタイミングを失し、その効果が充分でなかった。

これらの反省を踏まえ、イベント・賑わいの創出という点から誘客したお客様の初度対応、馬券購入、即ち、線としての誘導策を確立。

それとともに、効果測定が不明確なイベント・広告等を取り止め、馬と接する恒常的イベントを開催。

加えて営業対象ターゲットを明確にすることが課題。

○ (2) インターネット発売

平成18年度は開催日から、インターネット発売をオッズパーク（株）（ソフトバンク・プレーヤーズ（株）の100%出資）に委託する。

平成18年におけるJRAの発売成績をみると、全体では対前年比98.8%と若干減少しているものの、インターネット等の発売額は増加し全体の約45%を占めるに至っている。

岩手競馬においても、インターネット発売が今後の進展に大きな影響

を与えることから、インターネット発売における岩手の優位性を確立することが課題。

(3) 街中場外

競馬場からの遠隔地、市街地との距離短縮、冬期等の来場難渋の解消、更にはより簡便な馬券購入機会提供等の視点から、街中場外の設置は岩手競馬再興の重要なキーポイントと位置づける。

開設のためには地元同意を含めた環境整備、なかならず地元自治体との連携・協調が課題。

(4) 商品量と商品力

商品及び商品力の確保・向上、即ち馬資源の数の確保と、質つまり優良馬（強い馬、スター馬）の導入が課題である。

最近では優良な新馬の導入が少ないことから、岩手でデビューし歴戦を重ね全国に誇れるスター馬の誕生する環境、いわゆる馬の成長を見守りロマンが持てる環境を早急に整備することが、財政面から極めて厳しい状況にある。

結果として、JRA、他主催者の出走経歴はあるが勝鞍に恵まれない3歳馬及び高齢馬の転入が増加傾向にあり、単調で魅力の少ないレース編成となっている。

平成18年度においては、賞金額を前年度並みに維持し馬資源の確保を図るとともに、優良馬を数多く抱える民間トレーニングセンターを対象に認定厩舎制度を導入し、優良馬の導入機会の拡大を図り、魅力あるレースの創出に努める。

また、今後のインターネット販売を通じた全国展開を有効に働かせるため、グレード競走の増加に向け、関係機関に強く働きかけ実現させることが課題。

(5) 新賭け式の導入

新たな賭け式のインターネット上での導入促進が課題。

(6) コスト削減

場外発売所の共同利用 民間から賃借している場外発売施設のうち横手を除く3箇所（三本木・山本・十和田）について、他主催者との共同利用を平成18年度内に実現。

(7) 経費の縮減

厳しい経営環境を踏まえ、更なる不断のコスト削減を実施する。

プロジェクトチームを組織し、多数の人手を要する費用、多額の支出を伴う業務等、従前の固定観念・既成概念で捉えてきた業務について、業者・材料の選定・選択、業務内容・実施方法等を再検討し更なるコストの縮減を半年以内を実現することが課題。

(8) 組織の効率的運用

営業の強化、組織機能の発揮、厩舎及び緊急時管理に対応すべく（財）岩手県競馬振興公社の組織を改編する。（別添2のとおり）

販売費及び一般管理費の内訳（詳細）

単位：百万円

項目	細目	実行計画	18年度予算	増減
競走関係報償費	馬主関係報償費	1,432	1,456	24
	出走手当等	1,272	1,422	150
	調教師他関係報償金等	424	406	▲ 18
投票システム整備・運営費	現投票システム	572	572	0
	新投票システム	157	158	1
	投票システム運営費	517	551	34
	電話投票運用	99	47	▲ 52
	インターネット投票システム費	30	0	▲ 30
	街中場外経費	40	0	▲ 40
開催労務費	投票関係	342	234	▲ 108
	清掃関係	347	262	▲ 85
	警備関係	274	205	▲ 69
専用場外賃料	専用場外賃料	717	998	281
営業販売費	営業販売費	373	261	▲ 112
JBC開催経費	JBC開催経費	586	0	▲ 586
人件費	人件費	500	514	14
その他販売費・一般管理費	輸送手当	141	143	2
	大型映像賃料	102	45	▲ 57
	パルソ・用地等賃料	107	122	15
	競馬開催時現金輸送業務	127	60	▲ 67
	施設運転監視・保守点検業務	111	95	▲ 16
	裁決審判等業務放映	157	151	▲ 6
	光熱水費（2場・6所）	264	273	9
	関係団体補助金	60	64	4
その他	312	316	4	
販売費及び一般管理費計		9,063	8,355	▲ 708

(財)岩手県競馬振興公社組織図(新旧比較表)

